

第 4 回「キセラ・カフェ」を開催しました



11月25日(土)「キセラ川西オリヴィエマンション集会室」にて、キセラ川西せせらぎ公園について、公園でしたいことのアイディア出しや公園をどう盛り上げていくかについて、お茶を飲みながらざっくばらんに話し合う「キセラ・カフェ」を開催しました。

第4回となったこの日は、前回までと同様市民プログラムワークショップに参加された方をはじめ、キセラ川西オリヴィエにお住まいの方で初参加の方など、23名の方が集まりました。

この日は、11月11日(土)に開催された市民による企画・運営イベントである音灯りの感想や、現在実際に公園を利活用されている方からイベントの申請方法の話などが活発に交わされました。「公園利用者も増えてきているが、もっと魅力的な公園にしていくために、誰でも参加できる大きな目玉となるようなイベントが開催できれば良い」との声も出ました。

最後に、参加者の皆さんから年末に公園の大そうじをしたいとの声があがり、平成29年12月23日にキセラ・カフェ番外編として大そうじイベントを行うこととなりました。今後もこのような活動が広がり、市民の皆さんとともに成長できる公園になることを期待しています。



第5回 キセラ・カフェ 開催します

日時：1月27日(土)14時～16時

場所：キセラ川西オリヴィエマンション集会室

参加費：200円(お茶代)

申込：不要

内容：のんびり交流会

テーマは「自由」です！

[共同開催]キセラ川西市民プログラムワークショップ有志 / 川西市



|| 参加者募集 ||



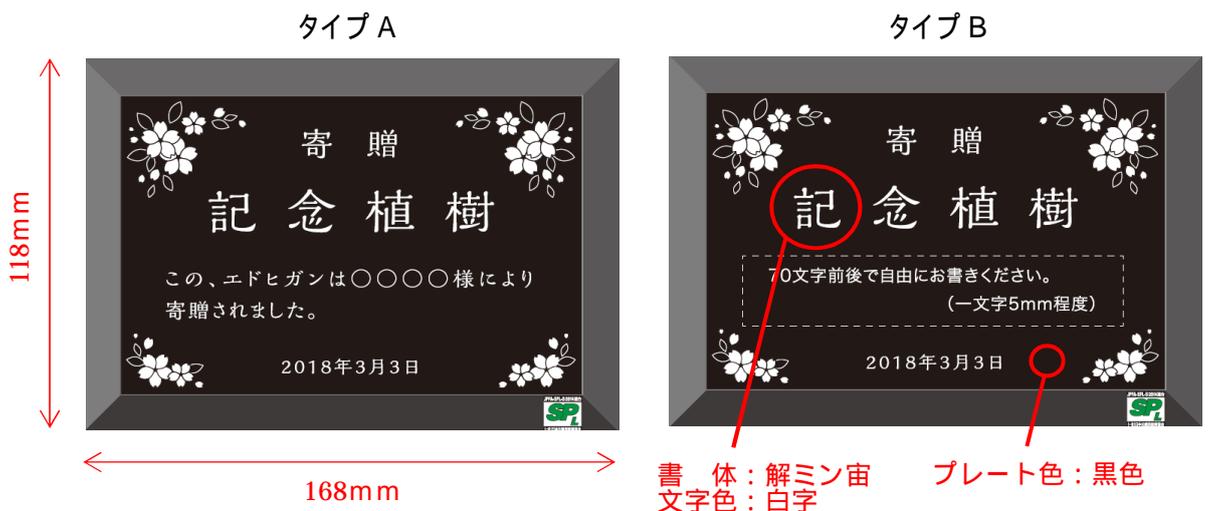
記念植樹イベントに関するお知らせ

- 主 旨** キセラ川西せせらぎ公園は、市民のみなさんと共に成長する公園として平成 29 年 7 月 8 日に開園しました。この記念植樹イベントは、開園記念として市民のみなさんの寄付によりサクラ(エドヒガン)の植樹を行うものです。
- 日 時** 平成 30 年 3 月 3 日(土)午前 10 時～11 時 ^{サクラ サク}雨天時 3 月 10 日(土)午前 10 時～11 時
- 場 所** キセラ川西せせらぎ公園
- 内 容** 芝生エリアにサクラ(エドヒガン)29 本を植樹します
植樹に関する一連の作業(植穴掘り、植樹、プレートの設置)をしていただきます
- 参加対象** 個人・家族またはグループ 小さなお子様は保護者同伴でご参加ください
- 参加資格** イベントの趣旨に賛同いただき 5,000 円以上の寄付をお願いできる方
- 申 込** 申込記載内容を添えて、下記の問い合わせ先まで郵送、ファクスまたはメール、もしくは窓口にて直接申し込みください。1 月 12 日(金)必着。なお、電話での申込受付は行いません。
定員は 29 組。定員超過の場合は抽選とし、1 月 16 日(火)～19(金)に当選された方にのみご連絡します。

申込記載内容：氏名、年齢、連絡先(住所・電話・ファクス・メール)、プレート内容

連絡先は家族・グループで申し込みされる場合は代表者の方のみの記載で構いません。
プレートはみなさんのオリジナルのものとするので、プレートの種類及び A の場合は氏名、B の場合は記載文章をお知らせください。自由文では絵文字の対応ができません(「!」や「?」などは可)ので、原則文字(ひらがな、カタカナ、漢数字)のみで構成してください。なお、文章の内容についてご確認させていただく場合があります。

例：プレート A・川西太郎(様)、プレート B・70 字以内で自由文



そ の 他 当日ご参加できない場合は、市が代わりに作業を行います。なお、両日とも中止の場合は 3 月 12 日(月)以降に市で作業しますので予めご了承ください。

問い合わせ 川西市役所みどり土木部キセラ川西推進室地区整備課(5 階 10 番窓口) 〒666-8501
電 話：072-740-1207 ファクス：072-740-1330 メール：kawa0193@city.kawanishi.lg.jp
担 当：池永^{いけなが}・山村^{やまむら}

冬は鳥の季節です

冬が近づくと、あれだけ繁茂していた草は枯れ、昆虫のなかまもほとんど見られなくなります。よく捜せば木の枝のどこかに卵や蛹が見つかるかもしれませんが。水の中のいきものは元気です。そして鳥たちにとっては、地上のえさが少なくなる季節を迎えます。少し寒いですが、逆に、野鳥を観察するにはとってもいい季節になります。鳥たちはとても目がよいので、近づこうとするとすぐに気づかれて逃げられてしまいます。10mが限界でしょう。警戒心の強いカモのなかまは見晴らしのよいところでは、20mも近づけません。

キセラ川西のせせらぎ水路でも、以前からカルガモやサギのなかまがやってきているのが見られました。カルガモは水草もえさにしますが、小魚や貝類も食べます。小魚やカエルなどをえさにするサギのなかまにとっては、せせらぎ水路はちょうどよいえさ場ということになります。



カルガモ

日本にはたくさんのカモ類がやってきます。そのほとんどは冬の季節だけで、暖かくなると北へ帰って行きます。(冬鳥といえます)

カルガモだけは一年中日本で暮らしています。(留鳥といえます)他のカモ類に比べてやや大型で、オスとメスが同じ色で、オスの方がやや大きいくらいで、ほとんど見分けはつきません。

他のカモ類はオスのほうが目立つ派手な色彩をしているのに、なぜカルガモだけがオスメス同じ色彩なのでしょう。それは、カルガモが留鳥である事とも関係しているようです。冬に多くの種類のカモが日本にやってきて集団生活している時に、なかまを素早く見分ける必要があります。オスは派手な美しい羽で、メスにアピールします。ところが、カルガモは留鳥であるため、繁殖期には他のカモ類がいなくなり、派手な羽で目立つ必要がありません。また、目立たない色の方が天敵などから身を守りやすいのです。雑食性ですが貝類も好物なので、ホタルのえさとなるカワナなどが食べられてしまいます。



よく見かけるサギのなかまには、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギ、アオサギなどがいます。白いサギをまとめてシラサギ(白鷺)と呼ぶこともありますが、シラサギという名のサギはいません。

左の写真はコサギで、猪名川本流でも群れで見られるくらい普通にいます。一年中くちばしが黒いのが特徴です。

いずれのサギも川や池、水田をえさ場にして、魚やカエル、その他小動物何でもえさにします。浅く狭い水路の魚は食べ尽くされてしまいます。

カワセミ

「水辺の宝石」といわれるくらい背中の青色が美しい小鳥です。

猪名川本流にも住みついています。(写真はドラゴン公園)

せせらぎ水路で見つければ、みんなの人気者になること間違いなしですが、好物はやはり小魚です。ですから、せせらぎ水路には小魚がたくさん隠られる水深と環境が是非とも必要です。



お知らせ

◆工事のお知らせ

1. 土地区画整理事業に伴う区画道路7号（他3路線）整備工事 工事概要

(1) 工事期間：平成30年1月9日から平成30年3月下旬（予定）

（作業時間：AM8:30～PM5:00）

日曜、祝日は原則として休工とします

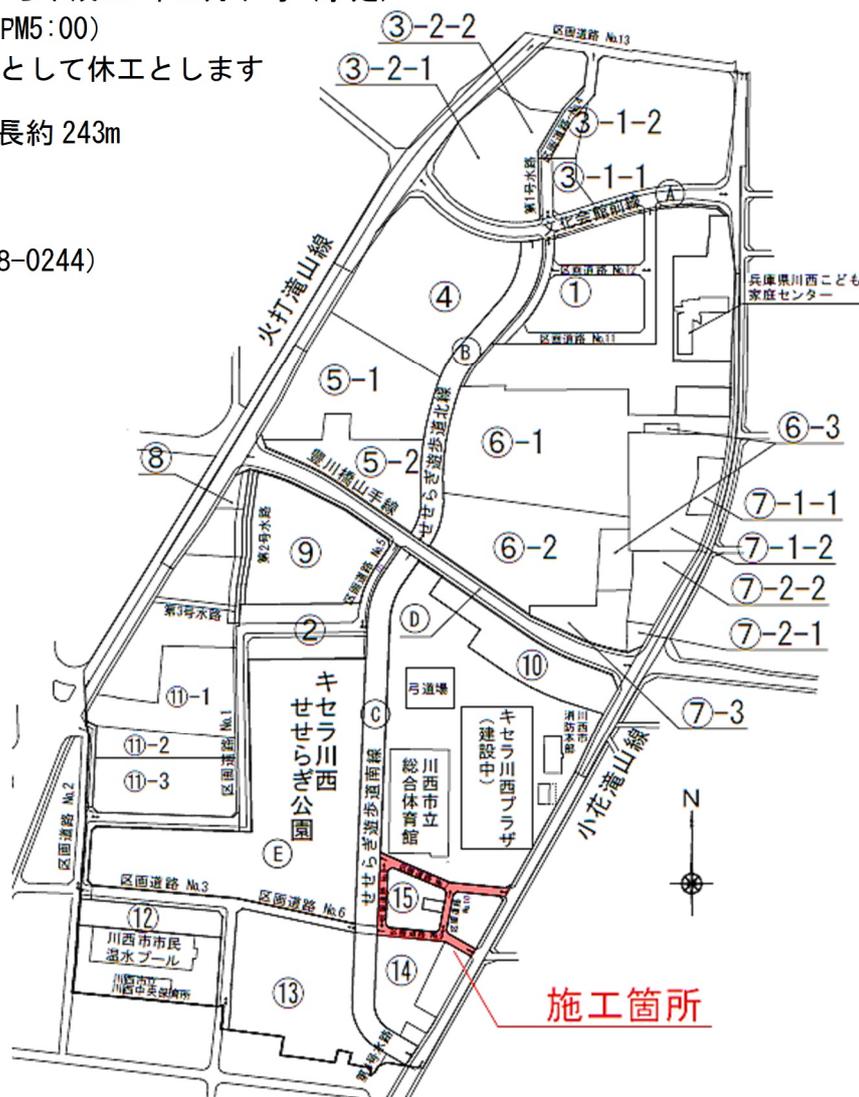
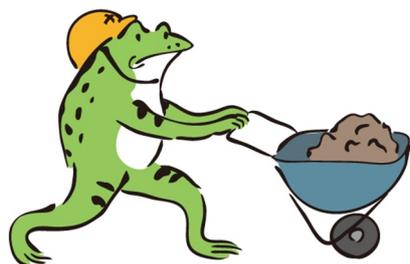
(2) 工事概要：道路改良工事 総延長約243m

(3) 施工業者：大興建設株式会社

(4) 現場代理人：今村 武敏（072-758-0244）

(5) 担当：地区整備課 三浦

(6) 電話：072-740-1207



建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。（詳しくは、地区整備課 072 - 740 - 1207 へ）

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 みどり土木部 キセラ川西推進室 地区推進課

TEL：072-740-1203 FAX：072-740-1330

日時：午前9時～午後5時半（ただし、土曜・日曜・祝日は除きます）

HP：<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>